

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局：大代地区公民館 ☎364-8442

謹賀新年

大代地区コミュニティ推進協議会

会長 佐藤 甚六

新年明けましておめでとうございませう。皆様には、ご家族共々お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年中は、当協議会の事業運営に對しまして格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は全国的に自然災害が多発し、特に新潟中越地区を襲った地震災害の恐ろしさが、心に刻まれました。

今年も、災害のない年を祈りながら、大代地区の皆様方とのコミュニケーションを一層図り、明るく住みよい地域づくり事業を推進してまいりますので、本年もどうぞよろしくご支援の程をお願い申し上げます。

コミュニティ推進協議会役員一同

- 副会長 渡辺 正平
- ” 渡辺 系な子
- 広報部長 渡辺 正平
- 環境美化部長 荒木 慶蔵
- 体育部長 熱海 五郎
- コミュニティ推進部長 小野 菊郎
- ” 小野 良一
- ” 佐藤 精一
- ” 小野 精子



ご祝儀 お見舞いは

三千元を限度にし

お返し物は

はしないよう

にお互い気を配り

あいさつは心のふれあい

出会った人と

あいさつしましょう

ふるさと大代のお正月

大代南 渡辺 巖

明けましておめでとうございませう

元朝詣り 年取りも夜半を過ぎて、先ず屋敷神を拝し、集落内の神社を巡拝してから塩釜神社へ詣りました。

若水 年取りの日に用意しておいた若水桶に、年男が供物日(三・五・七

・十一・十四・十五など)の早朝に、井戸から汲み供物の煮炊きに使います。

買初め 二日。年 始 四日頃からかけて布物を贈り、来客も同様の物を持参します。

嫁御の年始 四日には新嫁・婿は嫁の実家へ「正月札」に出掛けます。

五元日 (ゴガンニチ) 五日。若木迎え 六日。※アキの方の山へ注連縄と飾り餅を持参し、榎や栗の木を伐ってきます。

七草 六日の夜、芹・ナズナ・大根・人参・葱・納豆その他七種の物を「七草」に揃え、「七草叩き何叩く、唐土の鳥と田舎の鳥が渡らぬ先に、七草叩く何叩く。」と七日の朝までに七回唱えて刻み、切餅を入れ塩味にして七草粥を造り、神様に供え家内中でも食べます。

ノハシメ(農初め) 正月も十一日、農家の仕事始めです。

小正月 十五日。『女子の年取り』十四日に餅搗ぎ、お飾り替えをし、十五日

の朝食は全て男性が造ります。

松納め 十四日の夜半前までに全ての正月飾りを外して束ね、屋敷内の木に縛って納めます。(燃やさないが、どんと祭の原型でしょうか)。

チャセゴ 十四日の夜。子供達や厄年の男女が※「アキの方からチャセゴに来した。」と唱えて、各家庭を団扇を叩きながらご祝儀を貰って回ります。

暁粥 十四日の夜半過ぎ、六日に迎えた若木で小豆粥を炊き、家内中で食べます。

ヤハイガミ 十五日早朝。松納めの前に、飾りから外した紙垂(ヤハイガミ)を竹竿の先に束ね、子供達が竿を振り「ホイ、ホイホイ」と唱えて鳥追いをします。

暁詣り 十五日早朝の行事が終わると、元朝詣りと同様に神社を巡拝します。十六日 年が改まって、初めての墓参りです。

二十三日 十四日に供えた餅を夕食時に『お供え開き』といって焼くか水餅にして食べます(鏡開きでしょうか)。楽しかったお正月も終り。

冬来りなば春遠からじ 皆さん、ご自愛專一に。

※「アキの方」

この方向は、一般に暦の恵方(その年の干支から、いと定めた方向)をいう。地域によっては、「正月様が来る方向」と言っている所もある。

迎春

新年のごあいさつ

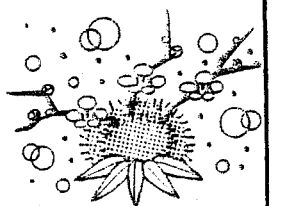
新年あけましておめでとうございませう。昨年中は、大代地区子ども会育成連合会の事業運営に對しまして格別のご支援とご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は東小学校付近等に不審者が出没し、小学生の女の子が若い男に抱きつかれるという事件が発生しました。全国各地でも、子どもたちを狙う悲しい事件が連日報道されております。大代地区の子どもたちが事件に遭わないよう、私たち大人がしっかりと守っていくことが重要であります。次代を担う大代地区の、あの宝石のような子どもたちが、安全に安心して遊べる大代地区を創り上げていくためには、地域の皆様の一層のご協力が必要であります。

今年も大代地区の子どもたちの健全育成のために、ご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

大代地区子ども会育成連合会

- 大代南 鈴木 良英
- 大代東 浦田 勇一
- 大代中 鈴木 京子
- 大代西 遠藤 善幸
- 大代北 菊田 茂



今年の抱負

中学一年 大代南 伊里山 拓美

僕は、五年生の時から少林寺拳法を習っています。練習は週に二回あります。今は二級ですが今年中には、絶対に初段を取り黒帯になれるよう頑張りたいです。初段の試験をする時、今までは場所も違い、先生方も違うので、とても難しいかもしれません。でも今年、もつと練習をしようと思います。

部活動の弓道でも二年になると忙しくなり、大会に出る機会が増えると思うので、いい成績を残せるようにしたいです。少林寺拳法と部活を両立するのはとても大変ですが、目標を達成するために一生懸命努力したいと思います。

日本への帰路(No.三十)

大代南 後藤 清一

二〇〇五年の新春をお祝い申し上げます。

顧みますと昨年は多事多難な年であったように思います。

今年こそ穏やかな年でありますよう祈ります。

さて、私のシベリヤから祖国への帰路は中断しておりましたが、再度続編を綴りたいと思います。

俺達を積み長々と繋いだダモイ列車は、すごいスピードで走り、止まっては走り、走ってはまた止まりを繰り返して走り続ける。暫くしてガタンと大きな音がし大揺れして止まった。皆は驚

いて上半身を起こし暗い車内を見廻す。両サイドの明かりと高窓を見上げる。夜明けもまもなくだろう。ガラス越しに映える宵の明星が鮮やかで見事である。本当に魂が奪われるような心の和む思いだ。高窓の明かりも次第に白み、入り口の重い扉も開かれ、朝の冷気が流れこんでくる。地平線の彼方に朝靄がたなびき、シベリヤの大地に見る雲海の景観だ。一体此処はどこなんだ。

ハバロフスクも過ぎればナホトカカ。" 鉄路も終点だ。外に飛び出し背伸びをし深呼吸と、思い思いの仕草でリラックスした私は、相変わらずのギブスで不自由この上なし。この先どんな処置をすれば良いのか考えた事もない。とにかく日本の家に早く帰りたい。

テルマのラーゲルを経つ長い旅であった。マンドリンを構えたソ連兵に守られて、若者達が数人俺達を取巻き「これから君達の身元調査を始める。質問には正直に答える。もしウソがばれたらシベリヤの奥地に逆送だぞ。」こんな彼等をよく見るとどうも日本人のようだ。終戦間際に入営の若者達で、ソ連の新しい思想を叩き込まれたのだから。共産主義に徹しているようだ。なるほど民主連盟の腕章をつけ堂々としている。腹が空いた。早く收容所に入り朝食を期待したのだが、今度は変な人民労働服を着た者達と入れ替わった。レーニング帽を斜にかぶり気取った奴等だ。どうも怪しい姿態だ。女だ。

何がはじまるんだ。皆で囁きあう。仲間の一人が小声で注意した。「思想調査員だ、女の方が融通がきかないから恐いぞ。気を付けろ。」と、事実この娘達の腕章は「思想調査員」と鮮やかに染め抜かれている。

有難う身体さん

大代南 星 繁子

私の人生の大切な一年も始まりました。昨年を振り返り考えると精神的にも、身体的にも変化の多い年でしたが、まづまづの一年だったと思っ

身体的には腰が曲がり膝は変形し、そして歩く事もままならず、鏡など見ると我ながらうんざりする姿ですが、長い年月を私を支えてくれて本当にご苦労さん。体のどこの箇所でも愛おしくさえ思われます。そして、残された日々大切にしようと思われ治療に挑戦しています。

そんな事に気付かせてくれたのは、母の言葉でした。母は八年前に九十才で他界した折りに、臨終の床からか細い声で、「死ぬまで歩いてトイレに行くように、足腰を大切にね。」と、これが私への遺言でした。その時、私の身体はすでに変形し痛んでおりました

が、そんな体のシグナルに気付かず、そのうち治るだろうと甘い考えで居りました。トイレにも行けなくなつたらと思うと、身体の大切さを改めて痛感し治療を始め今も奮闘中です。気が付くのが遅かったかなとは思いますが、「何とか歩き、義母の介護ができるのもその結果なのだろうか?」と、年の始めにこんな句を綴りたいと思います。

◎この身でもまだ出来ますよ老々介護若い皆さん。元気な時から身体をいたわって下さい。私のような過ちをしないうちに。正月を迎えてそんな気持ちになりました。



短歌

大代西 小倉 紀美子

金比羅宮の高き石段上がりかね

鳥居の前にておろがみ帰る

大代西 佐藤 あさよ

明日より雨との予報に咲き盛る

食用菊を急ぎ摘みおり